

平成17年度事業計画

(自平成17年3月1日 至平成18年2月28日)

社団法人 溶接学会

平成17年度において、本会は溶接研究の拡充振興及び溶接教育の推進強化を目標として下記の事業を行う。

1. 全国大会（定款3条1項）

1.1 春季全国大会

平成17年4月20日～22日（財）日本教育会館

研究発表講演（94件）、特別講演「自主性・創造性喚起のための技術者研修」、シンポジウム「自動車の軽量化の動向とその溶接技術」、フォーラム「土木分野における溶接最前線と将来を展望する」、若手会員のためのフォーラム

1.2 秋季全国大会

平成17年9月20日（火）～22日（木）福井大学（福井）

研究発表講演、特別講演、溶接学会論文賞受賞講演
フォーラム「エレクトロニクス実装技術動向と今後の展開」、若手会員のためのフォーラム、技術セッション、ワークショップ

2. 講習会（定款3条1項）

2.1 平成17年度溶接工学夏季大学（第54回）「溶接品質確保のための基礎と応用」

会 期 平成17年7月4日～5日

会 場 大阪大学大学院工学研究科岡田メモリアルホール（大阪市）

2.2 第42回工業高校教員のための溶接工学夏期講座

会 期 平成17年8月

会 場 東部地区

2.3 平成17年度溶接技術基礎講座（第33回）

会 期 平成17年6月9日～10日

会 場 科学技術会館（東京）

3. 刊 行（定款3条3項）

3.1 溶接学会誌 自73巻2号（平成17年3月号）至75巻1号（平成18年1月号）8冊

3.2 溶接学会論文集 第23巻2号（平成17年5月）～第24巻1号（平成18年2月）4冊

3.3 全国大会講演概要集（第76集及び第77集）2冊

3.4 溶接学会技術資料を随時刊行する。

3.5 平成17年度溶接工学夏季大学教材「溶接品質確保のための基礎と応用」

3.6 Mate2006 11th Symposium on “Microjoining and Assembly Technology in Electronics” 論文集

3.7 シンポジウム「摩擦攪拌溶接の高度化」テキスト

3.8 シンポジウム「21世紀の自動車における接合技術2005」論文集

3.9 新版溶接・接合技術特論

3.10 溶接・接合技術データブック（監修）

4. 第73回通常総会

開催期日 平成17年4月21日

開催場所 （財）日本教育会館

- 議 題
- 1) 平成16年度事業報告承認の件
 - 2) 平成16年度収支決算報告承認の件
 - 3) 監査報告
 - 4) 平成17年度事業計画承認の件
 - 5) 平成17年度収支予算承認の件
 - 6) 定款改訂の件
 - 7) 特別員推薦の件
 - 8) 表彰の件
 - 9) 溶接学会フェロー認定の件

5. 評議員会

開催期日 平成17年4月20日

開催場所 （財）日本教育会館

- 議 題
- 1) 平成16年度事業報告案の件
 - 2) 平成16年度収支決算案の件
 - 3) 監査報告
 - 4) 平成17年度事業計画承認の件
 - 5) 平成17年度収支予算承認の件
 - 6) 定款改訂の件
 - 7) 溶接学会規則改定の件

6. 役員会

6.1 理事会

定例理事会を7回（3, 4, 5, 9, 12, 1, 2, 3 各月）開催（6, 7, 8, 10, 11 各月は休会）及び必要あるとき開催

6.2 各業務担当理事会

必要あるとき随時開催

6.3 支部長会議及び支部幹事会

必要あるとき随時開催

7. 業務活動

7.1 企画委員会

学会の活性化に向けて、企画委員会を中心に、将来展望と活動目標を検討する「MeRIT-21 ビジョン：21世紀における溶接研究・技術の将来展望と溶接学会ビジョン Part II」を実施し、学会構成員の評価向上、溶接（高度）技術者教育、支部との連携のあり方、賛助会員へのサービスのあり方、などアクションプランの効果を引き続き検討するとともに、会勢増強、活動資金獲得にむけた活動の推進を図る。

7.2 業務活動委員長会議

会務運営を円滑にして会員サービスを向上させるため、各委員会間の連携を密にして効率のよい活動の展開を図る。（今期は企画委員会が担当する。）

7.3 論文査読・審査委員会

年度内4回の定例委員会を開催し、投稿論文の査読及び掲載可否決定の審査を実施する。

一部インターネット利用による電子委員会を試行する。

査読期間の短縮のための諸改革を引き続き実施する。

STWJ への推薦論文を選考し、同誌への投稿を推進することで海外への本学会研究活動の情報発信を引き続き進める。

7.4 全国大会運営委員会

全国大会の企画・運営について審議決定及び実施する。

講演概要集第76集及び第77集を発行する。

春季・秋季両大会において有識者による特別講演を実施する。

国立情報学研究所 (NII) の電子図書館サービス (NACSIS-EIS) への参加に伴い、講演概要集の発行日より12ヶ月経過後同サービスにて引き続き公開する。

科学技術情報発信・流通総合システム (J-Stage) を利用した発表及び投稿申込を実施し、発行日より12ヶ月経過後同サービスにて引き続き公開する。

7.5 編集委員会

溶接学会誌、溶接学会論文集の編集及び刊行を行う。

国立情報学研究所 (NII) の電子図書館サービス (NACSIS-ELS) への参加に伴い、溶接学会誌は創刊号からを対象とし、発行日から12ヶ月経過後同サービスにて引き続き公開する。

論文集は創刊号からを対象とし、発行直後から同サービスにて引き続き公開する。

科学技術情報発信・流通総合システム (J-Stage) への参加に伴い、発行直後から同サービスにて引き続き公開する。

英文誌 (Science and Technology of Welding and Joining=STWJ) の共同編集に引き続き参加する。

7.6 国際交流委員会

必要ある時随時開催し、国際交流事業の企画立案及び実行態勢の整備を行う。

日米協定、日韓協定及び日越協定に基づく活動 (合同シンポジウム等を含む) を推進する。

アジア溶接連盟 (AWF) の活動に引き続き参加する。

7.7 科学研究費委員会

必要あるとき随時開催し、文部科学省科学研究費に係る問題の検討及び処理を行う。

7.8 溶接用語委員会

(1) JIW 第 6 委員会と合同で適宜、委員会を開催し、IIW 第 VI 委員会の活動を支援する。

(2) 溶接・接合辞典の刊行を検討する。

(3) JIS 溶接用語改訂に関し、日本溶接協会規格委員会に協力する。

7.9 溶接教育委員会

(1) 必要に応じて委員会を開催し、本会の普及・教育活動に関する課題について検討する。

(2) 講座・講習会を企画立案し実施する。

1) 平成17年度溶接工学夏季大学 (前掲)

2) 平成17年度溶接技術基礎講座 (前掲)

3) 第42回工高教員のための溶接工学夏期講座 (前掲)

4) 溶接・接合技術セミナー

5) 溶接技術実用講座 (支部と共催)

6) 新規企画講習会、セミナーなど

(3) IIW 第 XIV 等と連絡し、各国と溶接教育について情報を交換する。

(4) 連続講座 (基礎分野) 及び溶接・接合セミナー (トピックス的なもの) について企画を検討する。

(5) 日本溶接協会と連携して、IIW スキームに準拠した溶接技術者教育用テキストの作成に向けた検討を行う。

(6) 日本技術者教育認定機構 (JABEE) の活動に協力する。

(7) 視聴覚教材 (OHP, PPT など) の製作について検討する。

(8) 国際溶接学会 (IIW) 特認コースの実施要領について検討する。

(9) 溶接技術者・溶接技能者の育成のための学協会と教育機関 (大学・高専・工業高校) の連携について検討する。

(10) 溶接工学シラバスと学会セミナーについて検討する。

7.10 溶接情報化委員会

本会の各業務委員会 (企画委員会、編集、論文査読・審査委員会、全国大会運営委員会、研究推進部会、各委員長または代表) と連携し、日本溶接協会の進める情報センターとの関係も含めて、当学会の情報化について総合的かつ個別的な問題に即応できる体制を引き続き検討する。

(1) 会誌、論文集及び全国大会概要集の J-Stage 及び NII への公開について、発刊後から公開までの期間による会員減への影響等について検討する。

(2) 本会の会誌、論文集、概要集、研究委員会資料等を含む各種データの情報発信について検討する。

(3) ホームページの形態について検討する。

8. 若手会員の会

8.1 若手会員の会運営委員会

若手会員間のネットワークを強化および国際化するとともに、学会活動に対する積極的な参加を促進することを目的として、魅力ある各種イベント・事業を企画・実施する。また、学会員以外の方々にも参加していただけるような行事を企画し、より幅広く活動を展開する。

8.2 イベント

(1) 春季全国大会フォーラム (共催: (財) 溶接接合工学振興会)

例年どおり全国大会の講演と重複する時間を避け、夕刻からの開催とする「イブニングフォーラム」の形式を踏襲する。

主 題: さまざまな学協会の若手の会の取り組み

日 時: 平成17年 4 月21日 (木) 17:30~19:30

場 所: (財) 日本教育会館 (春季全国大会開催会場)

なお、秋季全国大会時のイブニングフォーラムは「若手講演者の研究紹介と若手会員の交流会」の開催を予定している。

(2) 海外基礎セミナー

「Japanese Young Professors Technical Forum on Welding」

日 時: 平成17年 3 月30日 (木) 9:00~14:00

場 所: Matahari 3& 4- Level 5, Cititel MidValley
(Kuala Lumpur, Malaysia)

(3) 基礎セミナー

第 6 回「これから溶接・接合を学ぶ人たちのための溶接法基礎講座」

恒例の上記「基礎講座」を、前回のように参加者の方々のニーズをとらえたテーマを設定するとともに、地方 (東京・大阪近郊以外の場所) で開催する方向で調整中である。実施時期、場所等は現在検討中である。

(4) セミナー、勉強会、見学会等を開催し、若手会員の活動を

- (5) 若手会員間における学会へのニーズ，期待を把握し，溶接学会のあるべき姿の提言を行う。

8.3 情報交換および広報

- (1) 溶接学会誌「若手会員の会自由編集のページ」に連載記事、活動報告等を掲載する。
- (2) ホームページに活動報告、研究室・研究所紹介等の情報を掲載する。また、研究室・研究所紹介については、ホームページ上からキーワードで検索できるシステムを構築する。
- (3) メーリングリスト (E-mail) による情報交換を促進する。

9. 研究活動

9.1 研究推進部会

- (1) 随時開催し、各研究委員会の活動情況の把握及び調整並びに特別研究会、アドホック研究会及びミニ研究会等の設置についての起案・規模策定及び理事会への答申等を行う。
- (2) 特別研究会「建築鉄骨における溶融亜鉛メッキ割れに関する研究」（中込忠男主査）

2年目ととなる本年度は、溶融亜鉛メッキ割れに関して、さらなる事例調査及び既往論文の収集を行うとともに、再実験を行い、亜鉛メッキ割れ要因を探る計画である。さらにH13年から2年間の活動成果として、H14年度に報告した「建築鉄骨における実用的な入熱・パス間温度の管理手法」で紹介した非破壊検査となる内質検査のより実用的な活用方法に関して言及する計画である。
- (3) 特別研究会「摩擦撹拌溶接の高度化」が終了し、シンポジウムを開催する。
- (4) 春季全国大会においてフォーラム（溶接構造研究委員会）を開催する。（前掲）
- (5) 秋季全国大会においてフォーラム（マイクロ接合研究委員会）を開催する。（前掲）

9.2 溶接構造研究委員会

- (1) 開催回数 年5回
(2) 会 期 1回の会期は原則として1日又は2日とする。
(3) 開催期、開催地及び内容

会 名	開 催 期	開 催 地	内 容
第166回	3月	東 京	研究報告5～6件(日本運動学会 構造・材料研究委員会 材料・環境学会と合同委員会)
第167回	4月	東 京	春季全国大会(フナリーとして開催)
第168回	7月	ドイツ	第4回日独セミナー
第169回	未定	地 方	研究報告5～6件
第170回	1月	東 京	研究報告5～6件

9.3 溶接法研究委員会

- (1) 開催回数 年4回
- (2) 見 学 地方開催時及び随時
- (3) 会 期 1回の会期は原則として1日又は2日とする。
- (4) 開催期、開催地及び内容

合 合 系	開 開 期	開 開 地	内 容
第196回	8月	東京	基盤講演, 研究報告5~8件
第191回	8月	大阪	基盤講演, 研究報告10~12件
第192回	11月	地方	" " " " " " " " " " " "
第193回	2月	東京	" " " " " " " " " " " "

IIW 第12委員会と協力して国際的研究活動を行なう。

溶接法ガイドブック 6（和文版）の編集

9.4 溶接冶金研究委員会

- (1) 開催回数 年4回

- (2) 見 学 地方開催時及び随時
- (3) 会 期 1回の会期は原則として1日又は2日とする。
- (4) 開催期、開催地及び内容

会 合 名	開 催 期	開 催 地	内 容
第180回	5 月	東 京	研究報告 5 ～ 6 件
第181回	7 月	大 阪	”
第182回	11月	地 方	”
第183回	2 月	東 京	研究報告 10 ～ 12 件

JIW 第 2 及び第 9 委員会と協力して国際的研究活動を行う。

9.5 溶接疲労強度研究委員会

- (1) 開催回数 年4回
- (2) 見 学 地方開催時及び随時
- (3) 会 期 1回の会期は原則として1日とする。
- (4) 開催期、開催地及び内容

会 合 名	開 催 期	開 催 地	内 容
第205回	4 月	東京	研究報告 5 ～ 6 件
第206回	6 月	東京	”
第207回	11月	地方	” , 見学会
第208回	2 月	東京	”

IIW 第13委員会などと協力して国際的研究活動を行う。

9.6 高エネルギービーム加工研究委員会

- (1) 開催回数 年3回
(2) 会 期 1回の会期は原則として1日とする。
(3) 開催期、開催地及び内容

会 合 名	開 催 期	開 催 地	内 容
第49回	5 月	東 京	研究報告 5 ～ 6 件
第50回	10 月	東 京	研究報告 5 ～ 6 件
第51回	2 月	東 京	研究報告 5 ～ 6 件

JIW 第 4 委員会などと協力して国際的研究活動を行う。

9.7 輕構造接合加工研究委員会

- (1) 開催回数 年4回
(2) 会 期 1回の会期は1日とする。
(3) 開催期、開催地及び内容

会 合 名	開 催 期	開 催 地	内 容
第69回	6 月	東 京	講演・研究報告 4～5 件 # # # # ， 見学会
第70回	9 月	大 阪	
第71回	11月	地 方	
第72回	1 月	東 京	

JIW 第 3 委員会などと協力して国際的研究活動を行う。

他の研究委員会、他学協会と協力して活動する。

WG 活動を行う.

シンポジウム「21世紀の自動車における接合技術 2005」を開催する。

9.8 溶接アーク物理研究委員会

- (1) 開催回数 年4回
(2) 会 期 1回の会期は1日又は2日とする。
(3) 開催期、開催地及び内容

会 合 名	開 催 期	開 催 地	内 容
第158回	5 月	東 京	年度を通じ溶接現象に関する事実と法則の探求と溶接機構の解明について研究討論を行う。
第159回	8 月	大 阪	
第160回	11月	地 方	
第161回	1 月	東 京	

JIW 第212委員会と協力して国際的研究活動を行う。

9.9 マイクロ接合研究委員会

- (1) 開催回数 年3回
(2) 会 期 1回の会期は原則として1日とする。
(3) 開催期、開催地及び内容

会 合 名	開 催 期	開催地	内 容
第77回	5月	東京	講演，研究発表4～7件
第78回	9月	東京	〃
第79回	9月	福岡	秋季全国大会フォーラムとして開催
第80回	12月	東京	講演，研究発表4～7件

(4) ソルダリング分科会を開催する。

会 合 名	開 催 期	開催地	内 容
第39回	7月	東京	単独開催，テーマ設定方式
第40回	10月	東京	〃

(5) Mate 2006 シンポジウムを開催する。

(6) 研究会活動を行う。

9.10 界面接合研究委員会

(1) 開催回数 年3回

(2) 会 期 1回の会期は1日とする。

(3) 開催期，開催地及び内容

会 合 名	開 催 期	開催地	内 容
第69回	5月	東京	特別講演1件，研究発表4～5件
第70回	10月	東京	〃
第71回	1月	東京	〃

JIW 第1委員会と協力して国際的研究活動を行う。

10. 溶接学会記念基金助成活動

第2回海外版基礎セミナー“Seminar on the basis of Welding & Joining technologies”

平成17年3月30日（水） クアラルンプール（マレーシア）

11. 国内活動

11.1 日本学術会議接合工学専門委員会，同金属工学研究連絡委員会，同材料工学研究連絡委員会，造船学研究連絡委員会，構造工学研究連絡委員会，生産学術連合会，電子技術産業協会，日本技術者教育認定機構，日本工学会，日本溶接協会，日本非破壊検査協会，その他関係学協会との協力態勢を積極的に樹立し本会の目的達成を図る。

11.2 各政府機関に対して行政協力を積極的に行う。

11.3 支部活動を活発に行う。

12. 国際活動

2.1 JIW の活動を支援し，IIW の活動を通じて溶接に関する国際活動を行う。

12.2 各国学協会と各種情報，機関誌等を交換して積極的に交流を図る。

12.3 会員による海外視察の立案，国外からの来訪者による特別講演の実施，訪日外国人の国内視察斡旋などにより研究及び経験の交流を図る。

12.4 米国溶接協会（AWS），大韓熔接学会（KWS），及びヴェトナム溶接学会（VWS）の各協力協定に基づき交流活動を推進する。

アジア溶接連盟（AWF）の運営・活動に協力する。

平成17年度支部事業計画

1. 北海道支部

1. 事業

1.1 見学会

日 時：平成17年（場所：未定）

1.2 講習会

日 時：平成17年（場所：未定）

1.3 研究会

日 時：未定

場 所：室蘭市内

1.4 映画会（巡回ビデオ上映会）

開催時期：平成17年

場 所：道内関連大学，高専，企業

2. 会務

2.1 平成17年度支部商議員会並びに支部総会

日 時：平成17年3月22日（火）15：30～17：00

場 所：北海道大学工学部本館 A5-59室

2.1 各賞授賞者審査委員会及び選考委員会

(1) 溶接学会溶接技術普及賞審査委員会

(2) 溶接学会溶接技術奨励賞審査委員会

(3) 溶接学会奨学賞・溶接学会北海道支部学生奨学賞選考委員会

(4) 溶接学会溶接学術振興賞

2.2 幹事会

3回開催予定

2.3 2006年度全国大会実行委員会

8月開催予定

2. 東北支部

1. 事業

1.1 講習会・セミナーなど

第17回溶接・接合研究会

日 時：平成17年7月中旬（予定）

場 所：いわき市（予定）

研究発表5～10件，特別講演1件

参加者：40～50名

1.2 第1回東北支部夏季セミナー「溶接・接合技術の最前線」(案)

日 時：平成17年8月下旬の2日間（予定）

場 所：岩手県工業技術センター（予定）

講 義 5件，実習 1.5時間

参加者：20名程度

2. 刊行：なし

3. 会務

3.1 第42回商議員会

日 時：平成17年5月14日（土）11：00～12：00

場 所：東北地区溶接技術検定委員会会議室（仙台市泉区）

2.2 表彰

日 時：平成17年5月14日（土）12：00～12：30

場 所：東北地区溶接技術検定委員会会議室（仙台市泉区）

平成16年度溶接技術奨励賞：1名

平成16年度溶接技術普及賞：2名

平成16年度本部奨学賞（報告）：1名

平成16年度東北支部奨学賞（報告）：6名

- 2.3 総 会：商議員会議事録抜粋を支部会員に郵送
（平成17年中旬）

3. 東部支部

1. 事業

1.1 第33回 実用溶接講座

主題等現在検討中。

2. 地区講演会・講習会

- (1) 東京地区：12月頃実施予定
- (2) 神奈川地区：実施予定（時期未定）
- (3) 千葉地区：実施予定（時期未定）
- (4) 茨城地区：実施予定（時期未定）
- (5) 埼玉地区：実施予定（時期未定）
- (6) 栃木地区：実施予定（時期未定）
- (7) 群馬地区：実施予定（時期未定）
- (8) 新潟地区：実施予定（時期未定）
- (9) 山梨地区：実施予定（時期未定）
- (10) 長野地区：実施予定（時期未定）

3. 平成17年度・通常総会

通常総会は隔年開催のため、本年度は開催せず、審議事項については書類審査とする。

4. 特別講演（実施せず。）

5. 表彰式

日 時：平成17年5月26日（金）16：30～17：00

第138回常任幹事・地区委員長会議議事終了後に開催

場 所：（社）溶接学会 会議室

懇親会：17：00～19：00（溶接学会 会議室）

6. 常任幹事会・地区委員長会議

第138回 平成17年5月26日（溶接学会会議室）

※第138回以降は、適宜開催する。

4. 東海支部

1. 事業

1.1 講習会、セミナーなど

(1) 溶接研究会

第57回 平成17年9月

場 所：名古屋市工業研究所 視聴覚室

テーマ：「鉄鋼材料の溶接」

第58回 平成17年11月

場 所：名古屋大学 VBL

テーマ：「特殊金属の溶接」

第59回 平成18年2月

共 催：中部レーザ応用研究会と共催

場 所：名古屋大学 VBL

テーマ：「最新レーザ加工技術」

(2) 講習会

第13回技術講習会（HUBTEC 2005 協賛事業）

テーマ案：「溶接の基礎からハイテクまで」

開催日：平成17年6月30日（木）

場 所：ポートメッセなごや 2階ホール

後 援：溶接学会アーキ物理委員会

協 賛：日本溶接協会 愛知県支部、中部溶接振興会

1.2 JICA 国際溶接技術者研修コースへの協力

4月18日から10月7日

2. 会務

2.1 平成17年度支部総会及び特別講演

日 時：平成17年5月19日（木）13：00～17：00

場 所：名古屋大学 VBL

議 事：1) 平成16年度事業報告及び決算報告

2) 平成17年度支部役員の確認

3) 平成17年度事業計画（案）及び予算案の審議

4) 支部三賞授賞式：溶接技術奨励賞

冷水 孝夫（大同特殊鋼）

堀田 孝（堀江金属工業）

特別講演（題目未定）

講師（未定）

2.2 支部商議員会および支部役員会

1 回商議員会 平成17年4月8日（金）名古屋大学

2 回商議員会 平成17年5月19日（木）名古屋大学

支部3賞授賞審査委員会 平成18年3月 名古屋大学

5. 北陸支部

1. 事業

秋季全国大会

会 期：平成17年9月20, 21, 22日

場 所：福井大学文京キャンパス

2. 会務

2.1 平成17年度通常総会

会 期：平成17年7月予定

場 所：福井大学工学部

2.2 幹事会・商議員会

会 期：平成17年7月及び11月予定

場 所：福井大学工学部

2.3 全国大会実行委員会

会 期：平成17年7月、9月及び11月予定

場 所：福井大学工学部

6. 関西支部

1. 事業

1.1 平成17年度 シンポジウム

予定会期：平成18年1月頃

テーマ：未定

1.2 刊行

出版物名：未定

2. 会務

2.1 平成17年度 商議員・幹事会合同委員会

会 期：平成17年4月4日

場 所：ホテルホップイン

2.2 シンポジウム担当幹事会

平成17年8月頃を予定

7. 中国支部

1. 事業

1.1 研究会・見学会

日 程：平成17年 6 月（予定）

場 所：予定

[第 8 回：平成17年度：JFE スチール]

[第 7 回：平成15年度：パプコック日立（株）呉事業所]

[第 6 回：平成14年度：マツダ（株）防府工場]

[第 5 回：平成13年度：三井造船（株）玉野事業所]

[第 4 回：平成12年度：三菱重工業（株）広島製作所]

[第 3 回：平成11年度：松下電子工業（株）岡山工場]

[第 2 回：平成10年度：神鋼機器工業（株）]

[第 1 回：平成 9 年度：（株）日立製作所 笠戸工場]

参加者数：60～80名（過去実績）

1.2 溶接技術講習会

題 目：「ステンレス鋼溶接施工におけるトラブル事例とその原因・対策（仮題）」

日 時：平成17年10月 6 日（木）（予定）

会 場：日本溶接協会 中国地区検定員会 講堂（広島地区）

参加者数：100名（予定）

溶接協会 特殊材料研究委員会との共催

1.3 第 2 回 学修会

日 程：未定

会 場：近畿大学工学部，広島大学工学部（予定）

趣 旨：溶接学会員の増員，中国支部の若手技術者の基礎力養成，中国支部ネットワーク作り

内 容：中国支部会員（講師） 4 名程度による講義

参加者数：70名（第 1 回実績）

1.4 中国支部情報システムの立ち上げ

a) HP（ホームページ）の立ち上げ・運用

- ・各種情報（講習会，見学会等）の掲示
- ・各種申込（講習会，見学会等）の電子化
- ・各種行事の報告／写真等の掲載
- ・掲示板（内容未定）の設置
- ・中国支部技術者の交流の場
- ・中国支部若手技術者の発掘・交流の場

b) 各種データベースの作成

- ・中国支部の溶接・接合関連企業／部署／教育機関等のデータベース
- ・充実したHP上でのリンク作成
- ・各種テキストの電子化

※会員限定，セキュリティ強化

c) 電子メールによる各種案内

- ・郵送費削減
- ・各種案内の充実

2. 会務

2.1 第 1 回 幹事会

日 程：平成17年 5 月（予定）

議 題：研究会・見学会，学修会，講習会等打合せ

2.2 第 2 回 幹事会・受賞審査委員会

日 程：平成17年12月（予定）

議 題：17年度事業・会務報告，18年度事業・会務計画立案，各種表彰推薦者の審査

2.3 第 3 回 幹事会・商議員会合同会議

日 程：平成18年 3 月

議 題：17年度事業・会務報告，18年度事業・会務計画説明，奨学賞受賞報告

2.4 総会・特別講演会

日 程：平成18年 3 月

議 題：17年度事業・会務報告，18年度事業・会務計画説明，表彰式

受賞記念講演会：2 名程度

2.5 平成18・19年度商議員選挙

日 程：平成18年 2 ～ 3 月

8. 四国支部

1. 事業

1.1 講習会，セミナー

(1) 第20回溶接技術実用講座

日 時：平成17年 8 月 5 日（金）

場 所：香川県産業技術センター

(2) 第14回溶接技術基礎講座

日 時：平成17年11月25日（金）

場 所：高知県工業技術センター

(3) 第11回材料関連学協会支部・研究会連合講演会

日 時：平成18年 3 月 4 日

場 所：徳島大学工学部

1.2 刊行：なし

2. 会務報告

2.1 平成17年度通常総会：なし

2.2 常任幹事，地区委員長会議

(1) 第 1 回幹事会

平成17年 8 月 5 日

香川県産業技術センター

(2) 第 2 回幹事会

平成17年11月25日

高知県工業技術センター

(3) 第 3 回幹事会

平成18年 3 月 4 日

徳島大学工学部

9. 九州支部

1. 事業

1.1 （現時点で未定）

1.2 刊行

出版物名：溶接学会九州支部講演論文集，第二号

2. 会務

2.1 平成17年度通常総会・研究発表会

日 時：平成17年 7 月13日

2.2 平成17年度商議員会

日 時：平成17年 7 月16日